

歯科医師臨床研修管理委員長から歯学生へのメッセージ

日本赤十字社 芳賀赤十字病院 歯科臨床研修管理委員長
早坂純一

臨床研修を希望される歯学生の皆さんへ

当院は栃木県の県東保健医療圏の唯一の拠点病院で地域歯科診療支援病院でもあり、当科は県東医療圏を支える唯一の日本口腔外科学会認定施設であります。当科には、口腔顎顔面疾患で苦しんでいる人を救いたいという思いを持った歯科医師が結集し専門性の高い口腔がん・顎変形症などの顎顔面外科手術や顎口腔再建手術等を行なっています。また、消化器系がん・生活習慣病、慢性腎臓病が全国平均よりも高い地域であることから、悪性腫瘍患を患っている患者さんが治療を維持し、QOLの維持・向上ができるように医科と連携し周術期口腔管理も行っています。さらに、近年では新型コロナウイルス感染症に関しては、口腔外科・口腔内科診療の経験を活かし新型コロナワクチン接種業務に積極的に協力するなど、地域医療の最前線を支える活動もしています。

近年、歯科も医科と同様に専門化が進んでいますが、縦割りの診療分野のみではなく横断的に診るための知識や技術を身につける必要があります。当科研修では、一般歯科治療に加えて研修早期より日常臨床で遭遇する口腔外科および口腔内科疾患の診断・治療に関する研修を受け、歯科医師としての人格を涵養し、横断的に診断できる基本的診療能力を養うことを目的にしています。どのような状況でも適切な判断ができ、また時代の変化に速やかに対応し、患者中心の医療が行える歯科医師になることを目標にして、口腔顎顔面疾患を幅広く経験し、臨床歯科医として必要な基本的知識・技術を習得できる研修内容です。当科研修終了後にそれぞれの進路に進んだ後も、当科で生涯に渡って研鑽を積むことも可能です。

当院には医科研修医が多数在籍し、また自治医科大学芳賀地域臨床研修教育センターも設置され当科でも若手歯科医師の手術指導を行っていますので、彼らとの交流により将来像を明確にしていくチャンスもあります。さらに、臨床研究、学会発表や論文作成も経験することも可能です。当科では臨床から生まれる疑問を解決するための臨床研究も積極的に行っており、研究と臨床の「二刀流」の素晴らしさを感じることもできます。Digital Dentistryが急速に普及していますが、当科では3D模型を用いた術前シミュレーションを得意とし、自ら3Dプリンターで模型を作製したり、ハプティクスデバイスを使用してPC上で3D画像を用いた手術シミュレーションを行ったり、口腔外科手術を安全に確実に行うための工夫も多くしています。口腔がん手術や顎骨再建治療に興味のある研修歯科医には、私が開発した下顎骨再建手術（Resin frame method）を通して口腔がん手術や顎口腔再建手術等についても触れたいと考えています。

地域歯科医療の最前線で、この時代に必要とされる歯科医師像について考える良い機会を提供できると思いますので、是非見学に来てください。